

我が国における世界遺産条約採択40周年記念行事

1. 世界遺産条約採択40周年記念ユネスコ最終会合

(1) 目的

ユネスコにおける世界遺産条約採択40周年の各地の議論・行事を締め括る最終会合を開催し、我が国の文化遺産及び自然遺産の魅力を世界に発信するとともに、我が国の世界遺産条約に対する国際的貢献を世界にアピールする。

(2) 日程 2012年11月6日(火)～8日(木)

(3) 開催地 京都市

(4) 主な内容

世界遺産関係省庁(外務省、文化庁、環境省、林野庁)及びユネスコとともに、世界遺産条約の将来のあり方を検討する国際会合。

(5) 出席者

ユネスコ関係者(ユネスコ事務局長、同世界遺産センター所長等)
世界遺産条約締約国関係者、世界遺産委員会諮問機関関係者、
国内専門家、国内地方自治体関係者

2. 関係自治体による専門家会合等

(1) 目的

世界遺産条約採択40周年事業の気運を高め、40周年の全体会合及び近年のユネスコ世界遺産条約に係る諸課題について、専門家が全体会合前に議論を深め、最終会合の成果に貢献すること等を目的として、世界遺産が所在する自治体において専門家会合等を開催するものとする。

(2) 開催候補地(案)

兵庫県(姫路市)、富山県及び和歌山県を予定。

(3) 日程(予定)

[兵庫県(姫路市)]

2012年11月3日(土)～5日(月)

[富山県]

2012年11月3日(土)～5日(月)

[和歌山県]

2012年11月9日(金)～10日(土)

(4) 主な内容

〔姫路・富山〕：

- ・ ラウンドテーブルの国際専門家会合を2日程度行い、視察を半日行う。
(各10～15名程度)
- ・ 最後に専門家会合としての勧告等をまとめ、京都の全体会合の場で発表する。
- ・ 京都宣言(仮称)に勧告の内容を盛り込むことについては今後、ユネスコ側と調整。

〔和歌山〕：

- ・ シンポジウム形式。(国際専門家3名、日本の専門家2名程度)終了後に世界遺産の視察を予定。

(5) テーマ(案)

- ・ 兵庫県(姫路市)：「遺産と社会－奈良文書策定20周年とその後に向けて」
2014年に採択後20周年を迎える「真正性に関する奈良文書」にて提案された、遺産の保存に関するアプローチを見直し、遺産の保存における真正性と社会の変化について特に社会との関わりに注目しながら議論を行う。
- ・ 富山県：「世界遺産と持続可能な発展のための教育、そしてキャパシティ・ビルディング 戦略の構築と関係機関の連携を目指して(仮)」
持続可能な発展と世界遺産の関係における関係国際機関の理解を整理し、現状の課題を分析・抽出するとともに、そのためのキャパシティ・ビルディングの今後と、ユネスコ、大学等の関係機関の連携、役割分担の方向性を考える。
- ・ 和歌山県：「世界遺産を次世代へ(仮称)」
自然災害を含む世界遺産の保全における地域の主体的活動の重要性及び平和への貢献等についてシンポジウムで議論。